

2009年7月17日

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

【報道資料】

**チェック・ポイント、ポリシー変更管理機能を提供する Software Blade 「SmartWorkflow」  
によりセキュリティ管理分野でのリーダーシップをさらに強化  
エラーの削減とコンプライアンスの強化を実現**

ゲートウェイからエンドポイントまでの包括的セキュリティを提供するチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社(本社:東京都新宿区、代表:代表取締役社長 杉山隆弘)は本日、ポリシー変更管理の機能を提供する新しい Software Blade である「SmartWorkflow™」を発表しました。これによりお客様は、セキュリティ・ポリシーの変更管理機能を追加し、既存のセキュリティ・インフラストラクチャを拡張することが可能となります。SmartWorkflow は、セキュリティ管理コンソールにおけるポリシー変更の追跡、承認、および監査のプロセスを自動化することにより、設定ミスを最小限に抑え、ネットワーク・セキュリティの整合性を高めます。また、自社のポリシーや規則の遵守を支援するレポートと監査の機能も備えています。

Nebulas Solutions 社のテクニカル・ディレクターであるジョン・リーマン(John Reeman)氏は、「SmartWorkflow は、強力かつ包括的なポリシー変更管理と実施の機能を集中管理コンソールに統合したいという当社のニーズに応えてくれるソリューションです。SmartWorkflow を利用した結果、セキュリティ管理者の負担が軽減されたほか、リスクの高い設定ミスが起きる可能性も最小限に抑えられています」と述べています。

セキュリティ管理者は、絶えず寄せられる設定変更要求への対応に苦労しています。SmartWorkflow を使用すると、全社にわたって一貫性のあるセキュリティ・ポリシーを適用し、エラーやポリシー設定ミスが発生する可能性を抑えることができます。SmartWorkflow では、ポリシー変更の一連のワークフロー(新しいセッションの作成、セッションの編集、セッションの変更のレビュー、セッションの承認申請、承認の取得、変更の適用)を単一の管理コンソールで実行できます。また、承認申請の前にレポートを素早く作成して変更、追加、削除の内容を確認したり、変更を比較してポリシーを以前の状態に戻したりすることも可能です。この SmartWorkflow と先ごろ発表された SmartProvisioning は、セキュリティ管理 Software Blade のラインナップを拡充する新製品となります。

チェック・ポイントの製品担当バイスプレジデントであるドリット・ドール(Dr. Dorit Dor)博士は、「SmartWorkflow は、最高レベルのセキュリティとシンプルな管理の両立を目指すというチェック・ポイントの取り組みの中から生まれた成果の1つです。セキュリティ・ポリシーの管理は、日常的に行うものでありながら一筋縄ではいかない煩雑な作業です。SmartWorkflow は、変更管理プロセスをセキュリティ管理コンソールに統合し、関連する作業を容易に、そして確実に実行できるようにします」と述べています。

SmartWorkflow は、チェック・ポイント独自の Software Blade アーキテクチャ上で動作します。Software Blade アーキテクチャは、幅広いハードウェア上で動作する集中管理可能な統合ゲートウェイに、必要なセキュリティ機能だけを選択して組み込めるようにするものです。既存のセキュリティ・インフラストラクチャに目的の機能だけを柔軟に導入できるため、一般的なセキュリティ・ソリューションに比べ TCO を低く抑えることができます。SmartWorkflow Software Blade の詳細については、

<http://www.checkpoint.co.jp/products/softwareblades/smartworkflow.html>をご覧ください。

Software Blade アーキテクチャの詳細については、

<http://www.checkpoint.co.jp/products/softwareblades/architecture/index.html>をご覧ください。

「チェック・ポイントは、複雑な作業をシンプルにし、セキュリティ・ポリシーを確実に実施できるようにする革新的な技術の開発に継続的に取り組んでいます。SmartWorkflow は、お客様にとって重要なこの 2 つの要素を同時に実現します」とドール博士は述べています。

## 出荷時期

SmartWorkflow Software Bladeは発表同日から受注が開始され、各国のチェック・ポイント正規販売代理店を通じてご購入いただけます。チェック・ポイントのパートナーについては、[www.checkpoint.co.jp](http://www.checkpoint.co.jp)をご覧ください。

## Check Point Software Technologies Ltd.について

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ・リミテッド(www.checkpoint.com)は、インターネット・セキュリティにおけるトップ企業として、特にネットワーク、データ、およびエンドポイントのトータル・セキュリティを単一の統合管理フレームワークで提供できる唯一のベンダーとして広く認められています。チェック・ポイントは、セキュリティの複雑さと総所有コスト(TCO)を低減しつつ、あらゆるタイプの脅威からお客様のネットワーク環境を確実に保護するための妥協のないセキュリティ機能を実現しています。チェック・ポイントは、FireWall-1 と特許技術のステートフル・インスペクションを開発した業界のパイオニアです。2009 年には、新たな革新的セキュリティ技術として Software Blade アーキテクチャを開発しました。Software Blade アーキテクチャは、導入先にあわせカスタマイズすることで、あらゆる組織、あらゆる環境のセキュリティ・ニーズにも的確でダイナミックに対応できる、安全かつ柔軟でシンプルなソリューションの構築を可能にします。チェック・ポイントは、Fortune 100 社の全社を含む、何万ものあらゆる規模の企業や組織を顧客としています。数々の受賞歴のあるチェック・ポイントの ZoneAlarm ソリューションは、世界中で何百万にも及ぶお客様の PC をハッカー、スパイウェア、および情報窃盗から未然に保護しています。

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズの全額出資日本法人、チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社は、1997年10月1日設立、東京都新宿区に拠点を置き、約33名の従業員を擁しています。

#####

©2003-2009 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.

Check Point, AlertAdvisor, Application Intelligence, Check Point Endpoint Security, Check Point Endpoint Security On Demand, Check Point Express, Check Point Express CI, Check Point のロゴ, ClusterXL, Confidence Indexing, ConnectControl, Connectra, Connectra Accelerator Card, Cooperative Enforcement, Cooperative Security Alliance, CoreXL, CoSa, DefenseNet, Dynamic Shielding Architecture, Eventia, Eventia Analyzer, Eventia Reporter, Eventia Suite, FireWall-1, FireWall-1 GX, FireWall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, Hybrid Detection Engine, IMsecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, Integrity Clientless Security, Integrity SecureClient, InterSpect, IPS-1, IQ Engine, MailSafe, NG, NGX, Open Security Extension, OPSEC, OSFirewall, Pointsec, Pointsec Mobile, Pointsec PC, Pointsec Protector, Policy Lifecycle Management, Power-1, Provider-1, PureAdvantage,

PURE Security, puresecurity の logo, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureClient Mobile, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecurePlatform Pro, SecuRemote, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SecureXL Turbocard, Security Management Portal, Sentivist, SiteManager-1, Smart-1, SmartCenter, SmartCenter Express, SmartCenter Power, SmartCenter Pro, SmartCenter UTM, SmartConsole, SmartDashboard, SmartDefense, SmartDefense Advisor, Smarter Security, SmartLSM, SmartMap, SmartPortal, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SMP, SMP On-Demand, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, totalsecurity のロゴ、TrueVector, Turbocard, UAM, UserAuthority, User-to-Address Mapping, UTM-1, UTM-1 Edge, UTM-1 Edge Industrial, VPN-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Express, VPN-1 Express Cl, VPN-1 Power, VPN-1 Power Multi-core, VPN-1 Power VSX, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecuRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 UTM, VPN-1 VSX, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Anti-Spyware, ZoneAlarm Antivirus, ZoneAlarm Internet Security Suite, ZoneAlarm Pro, ZoneAlarm Secure Wireless Router, Zone Labs, Zone Labs のロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. あるいはその関連会社の商標または登録商標です。ZoneAlarm is a Check Point Software Technologies, Inc. Company. その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書で記載された製品は米国の特許 No.5,606,668、5,835,726、5,987,611、6,496,935、6,873,988、6,850,943、および 7,165,076 により保護されています。その他の米国における特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。

《本件に関するお問い合わせ先》

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社  
担当 マーケティング担当 佐藤

Tel: 03-5367-2500 / Fax: 03-5367-2501  
Email: marketing\_jp@checkpoint.com

広報代行 株式会社プラップジャパン  
担当 落合

Tel: 03-4570-3191/ Fax: 03-4570-3189